

令和5年度

はちとまネットワーク会議資料



令和6年1月10日（水）

目次

1. はちとまネットワーク連携事業の 令和4年度・令和5年度事業（経過）報告及び 令和6年度事業（案）について

①	連携推進分野	P 2
②	観光分野	P 8
③	スポーツ分野	P 13
④	物流・貿易分野	P 18
⑤	文化分野	P 22

① 連携推進分野

担当部署：八戸市 総合政策部 政策推進課・苫小牧市 総合政策部 政策推進課

1. 令和4年度事業報告

【実施内容】

○はちとまネットワーク会議の開催【R1～継続】

両市の市長と民間関係団体等が出席し、連携施策の推進を目的に、各分野の取組状況の報告や意見交換、情報共有等を行った。なお、令和元年度以来となる対面形式での開催とした。

場所：八戸市

日程：令和4年11月17日（木）

○連携分野別 担当課長会議の開催【R1～継続】

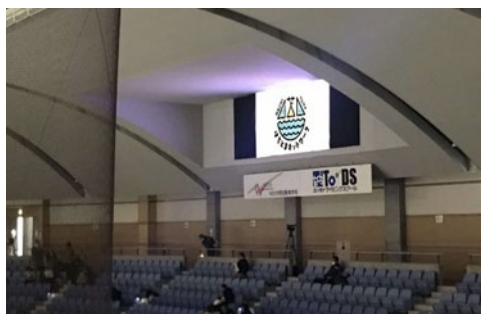
連携分野の担当部署及び民間関係団体により、はちとまネットワーク会議の意見等を踏まえた今後の都市間交流に関する検討や意見交換、情報共有等を行った。

場所：八戸市

日程：令和4年11月18日（金）

○動くロゴマークの使用【H30～継続】

令和4年10月8日（土）と11月6日（日）に行われたアジアリーグアイスホッケーのレッドイーグルス北海道対東北フリーブレイズの試合において、動くロゴマークを使用したPRを行った。



10月8日 白鳥王子アイスアリーナの電光掲示板（左）

11月6日 FLAT HACHINOHE のセンタースクリーン（右）

○広報紙への情報掲載 【H30～継続】

両市の広報紙に「はちとまネットワーク通信」を掲載し、市民に対して連携事業や関連情報等の紹介を行った。

苫小牧市

- ・八戸市魚菜小売市場の紹介（広報とまこまい2月号）

はちとまネットワーク通信 詳細 政策推進課 ☎(32)6039

 苫小牧市と八戸市は、2018年7月31日に交流連携協定を締結しました。今回は、八戸市魚菜小売市場について紹介します。

八戸の台所として長年にわたり市民や観光客に親しまれてきた「八戸市魚菜小売市場」は、昨年11月に大規模な改修工事が完了し、12月1日にリニューアルオープンしました。市場内の各店舗では鮮魚、刺身、干物などの加工品、焼き魚、海藻類、漬物、珍味などを販売しています。また、市場内の食堂では購入した食品にご飯やみそ汁を組み合わせたオリジナル朝食も楽しむことができますので、八戸市へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

八戸市魚菜小売市場

所在地 青森県八戸市大字湊町字久保38-1
JR盛岡駅から徒歩すぐ、八戸港フェリーターミナルから車で約8分
※専用駐車場がありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください


定休日 日曜日、第2土曜日、1月1・2日

営業時間 鮮魚・刺身店 3時～11時、塩干・珍味店 3時～14時、食堂 6時～10時




八戸市

- ・苫小牧市東開文化交流サロンの紹介（広報はちのへ2月号）

 **はちとまネットワーク通信** 八戸市と苫小牧市は、平成30年7月31日に交流連携協定を締結しました。今回は、苫小牧市に昨年オープンした「苫小牧市東開文化交流サロン」について紹介します。



図政策推進課 ☎43-9260

【苫小牧市東開文化交流サロン】

苫小牧市東開文化交流サロンは、図書機能と福祉拠点機能を兼ね備える、苫小牧市の公共施設としては初となる共生型地域福祉拠点です。サロンの中には、約2万8千冊を蔵書予定の図書室や絵本ホールも併設。「能動的で多様な図書スペース」を目指し、運営しています。

また、本を読みながら利用できるカフェ、自由な交流を楽しむことができるマルチスペース、障がい者芸術作品など新たな価値観との出会いの場となるギャラリーがあります。苫小牧市にお越しの際は是非お立ち寄りください。

☎12/29～1/3 ☎9:00～21:00 ☎0144-84-7956
☎北海道苫小牧市東開町2丁目12-22

2. 令和5年度事業経過報告

【実施内容】

○はちとまネットワーク会議の開催 【R1～継続】

両市の市長と民間関係団体等により、事業報告や情報共有を通じて、各施策の推進を図る。

場所：苫小牧市

日程：令和6年1月10日（水）

○連携分野別 担当課長会議の開催 【R1～継続】

連携分野の担当部署及び民間関係団体により、はちとまネットワーク会議の意見等を踏まえた今後の都市間交流に関する検討や情報収集、意見交換を行う。

場所：苫小牧市

日程：令和6年1月11日（木）

○広報紙への情報掲載 【H30～継続】

両市の広報紙に「はちとまネットワーク通信」を掲載し、市民に対して連携事業や関連情報等の紹介を行う。

苫小牧市

- ・八戸ー苫小牧フェリー航路開設50周年等（広報とまこまい7月号）
- ・八戸三社大祭の紹介（広報とまこまい8月号）

はちとまネットワーク通信
国策推進課 ☎(32)6039

【八戸ー苫小牧フェリー航路開設50周年】
 今年で開設50周年を迎える苫小牧港と八戸港を結ぶフェリー航路は、北海道と本州をつなぐ重要な交通手段として、人の交流や物流を支えています。現在は、川崎近海汽船㈱の「シルバーフェリー」が1日に4便運行しており、所要時間は片道およそ8時間です。来年には、八戸港に新たなフェリーターミナルビルが完成予定であり、さらなる利便性の向上が期待されます。

【はちとまネットワーク 協定締結5周年】
 フェリー航路を活用した都市間連携である「はちとまネットワーク」は、今年で協定締結から5年の節目を迎えます。市民の皆さんもフェリーを利用して、両市の取り組みに参加してみませんか
 （今後の主な取り組み）
 7月15日から：苫小牧市美術館で特別展と特集展示を開催
 9月：館前岸壁朝市（八戸市）で苫小牧市の「ホッキしゅつまい」を販売

■フェリー運航スケジュール

苫小牧港⇨八戸港		八戸港⇨苫小牧港	
苫小牧発	八戸着	八戸発	苫小牧着
5:00	13:30	8:45	16:00
9:30	18:00	13:00	20:15
21:15	翌日4:45	17:30	翌日1:30
23:59	翌日7:30	22:00	翌日6:00

はちとまネットワーク通信
国策推進課 ☎(32)6039

八戸市と苫小牧市は、平成30年7月に交流連携協定を結び、「はちとまネットワーク」の愛称で、観光、スポーツ、物流・貿易、文化の分野で、連携事業に取り組んでいます。今回は、4年ぶりに通常開催となる八戸三社大祭を紹介します。

毎年7月31日～8月4日の5日間、八戸市の中心街などで開催される「八戸三社大祭」は、およそ300年の歴史と伝統を誇る、豊作加護と報恩を祈願するお祭りであり、ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」の一つにも数えられています。

おがみ神社・長者山新羅神社・神明宮の三神社による神社行列や27台の豪華絢爛な山車の合同運行などが見どころです。

▲詳しくはこちら
 (VISITはちのへHP)

■八戸三社大祭の行事日程
 7月31日(休)、8月4日(休) 前夜祭/後夜祭（山車の一斉展示）
 8月1日(火～3日(休) お通り/中目/お祭り（山車の合同運行）
 ※8月2日(休) (中目)：加賀美流騎馬打球（長者山新羅神社）

八戸市

- ・八戸ー苫小牧フェリー航路開設 50 周年等（広報はちのへ7月号）
- ・TOMAKOMAI MIRAI FEST の紹介（広報はちのへ9月号）

はちとまネットワーク通信 国政推進課 ☎43-9248

八戸市と苫小牧市は、平成30年7月に交流連携協定を結び、「はちとまネットワーク」の発布で、観光、スポーツ、物産、貿易、文化の分野で、連携事業に取り組んでいます。


八戸ー苫小牧フェリー航路開設50周年
今年で開設50周年を迎える八戸港と苫小牧港を結ぶフェリー航路は、本州と北海道をつなぐ重要な交通手段として、人の交流や物産を運んでいます。
現在は、川崎近海汽船の「サルバフェリー」が1日に4往復運行しており、所要時間は片道およそ8時間です。来年には、八戸港に新たなフェリーターミナルビルが完成予定であり、更なる利便性の向上が期待されます。

【フェリー運航スケジュール】

八戸発	苫小牧発	苫小牧発	八戸発
8:45	16:00	5:00	13:30
13:00	20:15	9:30	18:00
17:30	翌日1:30	21:15	翌日4:45
22:00	翌日6:00	23:59	翌日7:30

はちとまネットワーク 協定締結5周年
フェリー航路を活用した都市間連携である「はちとまネットワーク」は、今年で協定締結から5年の節目を迎えます。市民の皆さんもフェリーを利用して、両市の取り組みに参加してみてください。

【今後の主な取り組み】
7月ー 苫小牧市美術館で開催特別企画展を開催
9月ー 館鼻岸壁朝市で苫小牧市の「ホッキョウまいる」を販売



はちとまネットワーク通信 国政推進課 ☎43-9248

八戸市と苫小牧市は、平成30年7月に交流連携協定を結び、「はちとまネットワーク」の発布で、観光、スポーツ、物産、貿易、文化の分野で、連携事業に取り組んでいます。

苫小牧市のイベントを紹介しします
苫小牧市の魅力的なロケーションを活かした複合型エンターテインメントイベント「TOMAKOMAI MIRAI FEST」が、今年もウオーターフロントエリアで開催されます。
今回で2回目の開催となる当イベントは、音楽フェスを切り口に、アート、食、未来のテクノロジーなどを取り入れた、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただける内容となっています。当日は、さまざまな有料・無料のコンテンツが用意されていますので、ぜひお越しください。

●日時 9月2日(土)・3日(日)11時～21時
●場所 キラキラ公園(苫小牧市入船町3丁目1)

画(一社)苫小牧観光協会 ☎0144-34-7050



○民間によるロゴマークの使用 【R2～継続】

「はちとまネットワークロゴマークの使用に関する要綱」に基づき、自治体利用以外のロゴマークの使用承認を行った。

①申請：上林 学（とまこまい観光大使）

内容：館鼻岸壁朝市ライブのチラシに使用

（令和5年9月14日～令和5年9月17日）

②申請：八戸市庁サッカー部（八戸市）

内容：八戸市・苫小牧市の交流試合の横断幕等に使用

（令和5年10月7日）

とまこまい観光大使
かんばやしまなぶ
館鼻岸壁朝市ライブ
9月17日(日曜日)
朝7時スタート



シンガーソングライター かんばやしまなぶ
苫小牧市PRご当地ソングを歌います!!
ほっぺのうた、さしほりほりどきどき水
ホッコウタル工房探歌(備前山・陸走馬)
田中裕大投手応援歌(戦火苫小牧卒業)




○はちとまネットワークの旗の作成【R5 新規】

はちとまネットワークのPRに活用するため、ロゴマークを使用した旗を作成。

使用実績：美術博物館 特別展

(令和5年7月15日～令和5年9月3日)

苫小牧市市民文化祭

(令和5年10月28日～令和5年10月29日)



○動くロゴマークの使用【H30～継続】

令和5年10月21日(土)に行われたアジアリーグアイスホッケーの東北フリーブレイズ対レッドイーグルス北海道の試合において、動くロゴマークを使用したPRを行った。

○苫小牧市民文化祭でのPRブースの設置【R5 新規】

苫小牧市で行われた市民文化祭の来場者に向け、はちとまネットワークのPRを行った。

場所：苫小牧市総合体育館

日程：令和5年10月28日～令和5年10月29日



○その他の連携推進の取組 【H30～継続】

両市の連携事業の状況や今後の予定について情報共有や必要な調整を行った。

3. 令和6年度事業（案）

【実施内容】

○はちとまネットワーク会議の開催 【R1～継続】

両市の市長と民間関係団体等により、事業報告や情報共有を通じて、各施策の推進を図る。

場所：八戸市

日程：今後、検討予定

○連携分野別 担当課長会議の開催 【R1～継続】

連携分野の担当部署及び民間関係団体により、今後の都市間交流に関する検討や情報収集、意見交換を行う。

場所：八戸市

日程：はちとまネットワーク会議後に開催予定

○広報紙への情報掲載 【H30～継続】

両市の広報紙に「はちとまネットワーク通信」を掲載し、市民に対して連携事業や関連情報等の紹介を行う。

○その他の連携推進の取組 【H30～継続】

両市の連携事業の状況や今後の予定について情報共有や必要な調整を行う。

② 観光分野

担当部署：八戸市 観光文化スポーツ部 観光課・苫小牧市 産業経済部 観光振興課

1. 令和4年度事業報告

【実施内容】

○八苦連携相互情報発信事業【H30～継続】

- ・観光パンフレットを、両市役所や両市観光案内所等へ相互配布した。
- ・両市観光案内所等で、観光PR動画を相互放映した。
- ・両市観光ウェブサイト等で、観光情報等を相互発信した。

○SNSでの情報発信【H30～継続】

- ・両市が運営する公式SNS（Twitter、Facebook等）で、観光情報やイベント情報の相互発信を行った。

苫小牧市

- ・八戸三社大祭代替行事

Facebook 2,066 リーチ 80 エンゲージメント

- ・八戸市館鼻岸壁朝市

Facebook 2,267 リーチ 124 エンゲージメント

八戸市

- ・とまこまい港まつり

Twitter 5,261 インプレッション 162 エンゲージメント

Facebook 1,200 リーチ 84 エンゲージメント

LINE 286 インプレッション

- ・とまこまいスケートまつり

Twitter 6,276 インプレッション 197 エンゲージメント

Facebook 1,271 リーチ 53 エンゲージメント

LINE 176 インプレッション

※インプレッション（ツイートが見られた回数）

リーチ（そのページコンテンツを見た人数）

エンゲージメント（ユーザーが実際にアクション（いいね、リツイート等）を行った回数）

○シルバーフェリー観光PR映像の放映【H30～継続】

フェリー船内やフェリーターミナル等にあるモニターにて、両市の観光PR映像等を放映した。

- ・動画クリエイター田中なつきさんによる八戸市×苫小牧市フェリー旅PR動画
- ・苫小牧市PR動画「ちょっといいかも TOMAKOMAI」春夏編+秋冬編
- ・苫小牧観光協会「カーリング体験」PR動画
- ・八戸三社大祭PR動画「The Japanese Traditional Arts 八戸三社大祭」
- ・88（やや）異国プロジェクト八戸PR映像



【苫小牧市PR動画】
「ちょっといいかも TOMAKOMAI」
春夏編+秋冬編



【八戸三社大祭PR動画】
「The Japanese Traditional Arts」
八戸三社大祭

○旅行雑誌への観光PR記事の掲載【R4 新規】

両市を結ぶフェリー航路を有効に活用した北海道及び北東北の周遊観光を広く周知することで、八戸・苫小牧エリアへの来訪を促すため、旅行情報誌「北海道じゃらん8月号」へ両市の観光情報を掲載した。

また、今後の事業の方向性を定める際の参考とするため、読者向けの観光アンケート調査を実施した。

- ・構成 見開き2ページ（両市各1ページ）
- ・掲載内容 観光スポット、グルメスポット、フェリー情報、おすすめ旅行スケジュールの提案
- ・発行部数 107,000部
- ・アンケート回答者数 1,416名
- ・委託先 (株)リクルート北海道じゃらん

2. 令和5年度事業経過報告

【実施内容】

○八苦連携相互情報発信事業【H30～継続】

- ・両市の観光パンフレットを、市役所や観光案内所、フェリーターミナル等にて相互配布している。
- ・両市観光案内所等で、観光PR動画を相互放映している。
- ・両市観光ウェブサイト等で、観光情報等を相互発信している。

○SNSでの情報発信【H30～継続】

両市が運営する公式SNS（Twitter、Facebook等）で、観光情報やイベント情報の相互発信を行っている。

○シルバーフェリー観光PR映像の放映【H30～継続】

フェリー船内やフェリーターミナル等にあるモニターにて、両市の観光PR映像等を放映している。

○旅行雑誌への観光PR記事の掲載【R4～継続】

両市を結ぶフェリー航路を有効に活用した北海道及び北東北の周遊観光を広く周知することで、八戸・苫小牧エリアへの来訪を促すため、東北「道の駅」公式マガジン「おでかけ・みちこ」の夏号(6月号)へ両市の観光情報を掲載した。

- ・構成 見開き2ページ（両市各1ページ）
- ・掲載内容 観光スポット、グルメスポット
- ・発行部数 100,000部

※東北のすべての道の駅及び北海道・関東・新潟の一部の道の駅で配布

- ・委託先 川口印刷工業(株)

○両市イベントでの観光PRブース出展【R5 新規】

八戸・苫小牧エリアへの来訪を促すため、両市イベントにおいて、相互に観光PRブースを出展する。

- ・令和5年10月8日(日) 【苫小牧市→館鼻岸壁朝市出店】
両市職員による観光PRのほか、ホッキしゅうまいを販売
- ・令和6年2月10日(土)/11日(日) 【八戸市→スケートまつり出店】
八戸市職員による観光PRのほか、八戸せんべい汁を販売予定



10月8日(日)

館鼻岸壁朝市での観光PRブース出展の様子

3. 令和6年度事業（案）

【実施内容】

○八苦連携相互情報発信事業【H30～継続】

- ・両市の観光パンフレットを、市役所や観光案内所、フェリーターミナル等にて相互配布する。
- ・両市観光案内所等で、観光PR動画を相互放映する。
- ・両市観光ウェブサイト等で、観光情報等を相互発信する。

○SNSでの情報発信【H30～継続】

両市が運営する公式SNS（Twitter、Facebook等）で、観光情報やイベント情報の相互発信を行う。

○シルバーフェリー観光PR映像の放映【H30～継続】

フェリー船内やフェリーターミナル等にあるモニターにて、両市の観光PR映像等を放映する。

○両市イベントでの観光PRブース出展【R5～継続】

八戸・苫小牧エリアへの来訪を促すため、両市イベントにおいて、相互に観光PRブースを出展する。

○観光PRブース出展時に活用するノベルティの制作【R6 新規】

両市のマスコットキャラクターコラボのクリアファイルを制作し、観光PRブース出展時にパンフレットと合わせて配布する。

③ スポーツ分野

担当部署：八戸市 観光文化スポーツ部 スポーツ振興課・苫小牧市 総合政策部 スポーツ都市推進課

1. 令和4年度事業報告

【実施内容】

○小学生選抜チームによるアイスホッケー交流事業【R1～継続】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、小学生選抜チームによる交流試合は中止とし、苫小牧市、八戸市ともに両市を本拠地とするアジアリーグアイスホッケーのチーム同士が対戦する試合に合わせて、小学生選抜チームによる観戦を実施した。

〈苫小牧市 試合観戦詳細〉

- ◇ 日 時：令和4年10月8日（土） 15:00～17:30
- ◇ 場 所：白鳥王子アイスアリーナ
- ◇ 内 容：アジアリーグアイスホッケー2022-2023
「レッドイーグルス北海道 VS 東北フリースタイル」試合観戦
- ◇ 参加者：市内のアイスホッケーチームに所属する小学生・関係者
小学生選手38名、監督・コーチ11名 計49名
- ◇ 備 考：はちとまのロゴマークが入ったフラッグを作成し、両チームを応援
来場者全員に八戸市の観光パンフレットを配布
MCが、はちとまネットワーク連携事業を紹介し、電光掲示板にて八戸市の観光PR動画や動くロゴマークを上映

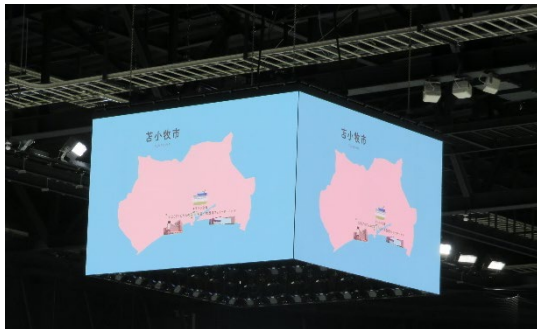
【試合観戦の様子（苫小牧市）】



〈八戸市 試合観戦詳細〉

- ◇ 日 時：令和4年11月6日（日） 15:00～17:20
- ◇ 場 所：FLAT HACHINOHE（フラット八戸）
- ◇ 内 容：アジアリーグアイスホッケー2022-2023
「東北フリースタイルアイスホッケー VS レッドイーグルス北海道」試合観戦
- ◇ 参加者：青森県アイスホッケー連盟小学生選抜チーム
小学生選手17名、監督・コーチ3名 計20名
- ◇ 備 考：事前に参加者に対して、はちとまネットワーク連携事業を説明
会場内に苦小牧市の観光パンフレットを設置
MCが、はちとまネットワーク連携事業を紹介するとともに、
リンク内センタービジョンに苦小牧市の観光PR動画及びは
ちとまネットワーク連携事業の動くロゴマークを上映

【試合観戦の様子（八戸市）】



2. 令和5年度事業経過報告

【実施内容】

○小学生選抜チームによるアイスホッケー交流事業【R1～継続】

八戸市において両市小学生選抜チームによる交流試合、交流会及びアジアリーグアイスホッケーの試合観戦等を実施した。

〈交流試合詳細〉

- ◇ 日 時：令和5年10月21日（土） 12:00～13:30
- ◇ 場 所：FLAT HACHINOHE（フラット八戸）
- ◇ 内 容：八戸市小学生選抜チームと苫小牧市小学生選抜チームによるアイスホッケー交流試合
- ◇ 参加者：八戸市小学生選抜チーム 選手17名、スタッフ4名 計41名
苫小牧市小学生選抜チーム 選手17名、スタッフ3名

【交流試合の様子】



〈交流会詳細〉

- ◇ 日 時：令和5年10月21日（土） 16:00～16:30
- ◇ 場 所：YSアリーナ八戸 人工芝コート
- ◇ 内 容：両市及び後援団体（青い森信用金庫、一般社団法人八戸青年会議所）代表挨拶、後援団体より記念品贈呈、両市選手自己紹介及びクイズ大会実施
- ◇ 参加者：両市小学生選抜チーム 選手・スタッフ 38名
後援団体来賓 6名 計44名

【交流会の様子】



〈試合観戦詳細〉

- ◇ 日 時：令和5年10月21日（土） 17:00～19:30
- ◇ 場 所：FLAT HACHINOHE（フラット八戸）
- ◇ 内 容：アジアリーグアイスホッケー2023-2024
「東北フリーブレイズVS レッドイーグルス北海道」試合観戦
- ◇ 参加者：両市小学生選抜チーム 選手・スタッフ 計38名
- ◇ 備 考：はちとまのロゴマークが入ったフラッグを持って、両チームを応援
会場内に苫小牧市の観光パンフレットを設置
MCが、はちとまネットワーク連携事業を紹介するとともに、リンク内センタービジョンに苫小牧市の観光PR動画及びはちとまネットワーク連携事業の動くロゴマークを上映

【試合観戦の様子】



〈市内視察詳細〉

- ◇ 日 時：令和5年10月21日（土）・22日（日）
- ◇ 場 所：是川縄文館、八戸市博物館、八食センター
- ◇ 内 容：市内文化・観光施設の視察
- ◇ 参加者：苫小牧市小学生選抜チーム 選手・スタッフ 計20名

【視察の様子】



3. 令和6年度事業（案）

【実施内容】

○小学生選抜チームによるアイスホッケー交流事業【R1～継続】

令和6年度は、苫小牧市において両市選抜チームによる交流試合や、アジアリーグアイスホッケーの試合観戦等を実施する予定

◇ 日時：未定

◇ 場所：苫小牧市

④ 物流・貿易分野

担当部署：八戸市 商工労働まちづくり部 商工課・苫小牧港管理組合 政策推進課、
苫小牧市 産業経済部 港湾・企業振興課

1. 令和4年度事業報告

【実施内容】

○東南アジアコンテナ定期航路誘致事業【H30～継続】

- ・航路誘致のための船会社への共同訪問の実施に向け、両港のコンテナヤード視察のほか、コンテナ取扱いに係る現状分析や今後の方向性に係る検討等のための実務担当者会議を実施するとともに、データの整理・分析等に継続して取り組んだ。



実務担当者会議・両港の視察実施
 ≪八戸市：令和4年7月14日(木)≫
 ≪苫小牧市：令和4年10月14日(金)≫

- ・八戸セミナー2022、苫小牧港セミナーにおいて、両港の交流連携を紹介するとともに、更なる利用促進に向けてPRを実施した。

《八戸セミナー2022》（主催：八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会等）

- ・令和4年7月26日(火) <名古屋>
- ・令和4年7月27日(水) <東京>

《苫小牧港セミナーin東京2023》（主催：苫小牧港利用促進協議会）

- ・令和5年1月25日(水) <東京>

- ・港湾連携のプロモーションとして、日本海事新聞別冊『日本コンテナ航路一覧』（令和4年8月8日発行）への共同広告掲載を実施した。



日本海事新聞 別冊『日本コンテナ航路一覧』
 （令和4年8月8日発行）への共同広告掲載



苫小牧港セミナー2023（東京）の様子
 ≪令和5年1月25日（水）≫

2. 令和5年度事業経過報告

【実施内容】

○東南アジアコンテナ定期航路誘致事業【H30～継続】

- ・ 東南アジアコンテナ定期航路誘致のため、実務担当者会議を通して、両港のコンテナ取扱いデータ等の現状分析のほか、コンテナターミナル等の視察を実施した。
- ・ 両港の船会社への共同訪問について、現在検討中。



実務担当者による会議（八戸市）・八戸港コンテナターミナルの視察
 ≪苫小牧市：令和5年10月24日(火)≫



実務担当者による会議（苫小牧市）・苫小牧港コンテナターミナルの視察
 ≪八戸市：令和5年10月26日(木)≫

- ・ 港湾連携のプロモーションとして、日本海事新聞別冊『日本コンテナ航路一覧』（令和5年8月7日発行）への共同広告掲載を実施した。

苫小牧港
 小口船積コンテナ船送支援事業
 新規航路誘致を目指し連携！
八戸港
 コンテナ航路補助会制度のご案内

日本海事新聞 別冊『日本コンテナ航路一覧』
 （令和5年8月7日発行）への共同広告掲載

- ・両港で開催のセミナーにおいて、フェリー航路の紹介や更なる利用促進に向けたPRを実施した。

《八戸セミナー2023》

(主催：八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会等)

- ・令和5年7月26日(水) <東京>
- ・令和5年7月27日(木) <名古屋>



八戸セミナー2023(東京)の様子
《令和5年7月26日(水)》

《国際物流総合展 2023 出展者プレゼンテーションセミナー》

(主催：苫小牧地区企業誘致連絡協議会、苫小牧港利用促進協議会等)

- ・令和5年9月13日(水) <東京>



国際物流総合展 2023
出展者プレゼンテーションセミナーの様子
《令和5年9月13日(水)》



セミナー動画視聴の様子(八戸市)
《令和5年9月27日(水)》

○フェリー航路における両港の交流連携のPR【R3～継続】

- ・八戸ー苫小牧間フェリー航路の開設50周年記念式典にて受付及び会場内にロゴマークをモチーフとしたポスターを掲示し、両港の交流連携のPRを行った。
- ・八戸ー苫小牧間のフェリー船内及びフェリーターミナル内に同ポスターを掲示し、乗船客に両港の交流連携のPRを行った。



※開設50周年式典・苫小牧西港フェリーターミナル内にポスター掲示

3. 令和6年度事業（案）

【実施内容】

○東南アジアコンテナ定期航路誘致事業【H30～継続】

- ・東南アジアコンテナ定期航路誘致のため、船会社への共同訪問において貨物輸送に係る具体的な提案を行えるよう、両港のコンテナ取扱いに係るデータの整理・分析等を継続して実施する。
- ・両港で開催予定の苫小牧港セミナーや八戸セミナーにおいて、交流連携の紹介や更なる利用促進に向けたPRを実施する。
- ・日本海事新聞への共同広告掲載を継続して実施する。

⑤ 文化分野

担当部署：八戸市 観光文化スポーツ部 美術館・苫小牧市 教育部 美術博物館

1. 令和4年度事業報告

【実施内容】

○連携展覧会の検討・準備【R4 新規】

八戸市と苫小牧市の連携をコンセプトに含む展覧会の企画・検討や資料の調査（撮影・計測等）を実施した。

◇ 日時：令和5年1月24日（火）・3月28日（火）・3月29日（水）

◇ 場所：八戸市美術館、八戸市博物館、
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

2. 令和5年度事業経過報告

【実施内容】

○連携展覧会（特別展）の開催【R5 新規】

苫小牧市美術博物館開館10周年・はちとまネットワーク提携5周年を記念し、北海道・北東北を中心とする縄文の文化財の優品に加え、岡本太郎、草間彌生をはじめとする戦後日本の現代美術の多彩な表現から「縄文的要素」を抽出した作品を展示した。八戸市美術館、八戸市博物館、是川縄文館、苫小牧市美術博物館の所蔵作品及び資料についても紹介した。

◇ 特別展「縄文⇌現代 ～共鳴する美のかたち」

◇ 日時：令和5年7月15日（土）から9月3日（日）まで

◇ 場所：苫小牧市美術博物館

◇ 協力：青森県立美術館、青森県立郷土館、八戸市美術館、
八戸市博物館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

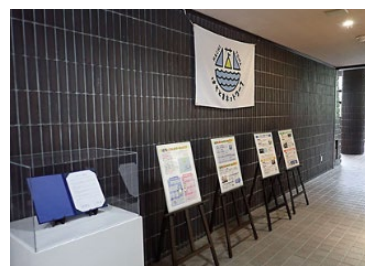


特別展「縄文⇌現代～共鳴する美のかたち」（左）
特集展示「〈はちとま〉の海にまつわる自然と歴史」（右）

○連携展覧会（特集展示）の開催【R5 新規】

八戸苫小牧間フェリー航路開設 50 周年及び苫小牧港開港 60 周年を記念し、八戸苫小牧間のフェリーから観察できる海鳥や海生哺乳類などの海洋生物や、海を介した流通・観光の重要な手段である港に関する模型及び写真等を自然と歴史の視点から展示した。併せて、はちとまネットワークのPRブースを設け、来館者に対して活動の紹介を行った。

- ◇ 特集展示「〈はちとま〉の海にまつわる
自然と歴史」
- ◇ 日時：令和 5 年 7 月 15 日（土）から
9 月 3 日（日）まで
- ◇ 場所：苫小牧市美術博物館



はちとまネットワーク PR ブース

○はちとまネットワーク ミュージアム紹介映像の放映【R5 新規】

八戸市美術館テクニカルコーディネーターが、両市のミュージアム及び市内各所を撮影し、編集した映像を放映した。

- ◇ 制作：八戸市美術館
- ◇ 撮影場所：川崎近海汽船、八戸市博物館、八戸市美術館、八戸市埋蔵文化センター是川縄文館、苫小牧市美術博物館、苫小牧市勇武津資料館、両市内各所
- ◇ 放映場所：八戸市美術館、苫小牧市美術博物館、シルバーフェリー船内、八戸まちなか広場マチニワ、YouTube



ミュージアム紹介映像（YouTube より）

○アーティスト・イン・レジデンス（滞在制作）の実施【R5 新規】

苫小牧ゆかりの現代作家、藤沢レオ氏が八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館において土偶をモチーフとする作品を制作した。成果作品については、苫小牧市美術博物館で開催した特別展「縄文≡現代」で紹介するほか、同氏が講師を務めたワークショップ（7/30実施）の際に見本としても活用した。

- ◇ 事前打合：令和5年5月10日（水）
- ◇ 下見：令和5年5月26日（金）から27日（土）まで
- ◇ 制作：令和5年6月21日（水）から25日（日）まで



是川縄文館で作品を制作する藤沢レオ氏（左） | 《起源のモニュメント～土偶》（中央）
| ワークショップ「土偶アーティストになろう」（右）

○連携交流事業の実施【R5 新規】

苫小牧市で実施している子ども広報部「びとこま」の活動に八戸市美術館の学芸員がリモート参加し、苫小牧市の芸術家や子ども達と交流を図った。

- ◇ 日時：令和5年9月2日（土）
- ◇ 主催：苫小牧市美術博物館
- ◇ 共催：NPO法人樽前 a r t y プラス



子ども広報部「びとこま」の様子

○講演会の実施【R 5 新規】

特別展「縄文⇄現代」の関連イベントとして、八戸市博物館学芸員を講師とする講演会を実施した。

- ◇演題「八戸の縄文文化と社会」
- ◇日時：8月26日（土）14:00～15:30
- ◇場所：苫小牧市美術博物館



講演会の様子

3. 令和6年度事業（案）

【実施内容】

○連携事業の検討・実施【R 6 新規】

連携展示会は単年度で終了するが、両市の文化分野での連携や芸術家の協力を得たワークショップの実施について検討を行う。

- ◇ 日時：未定
- ◇ 場所：八戸市美術館、苫小牧市美術博物館（予定）
- ◇ 内容：企画中